

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成23年2月15日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

発 表 事 項

1. 就活バスの支援、発進！
2. 『世界俯瞰の匠』がS評価
3. 『“山形大学流”グリーン』シンポジウム

お 知 ら せ

1. 農学部『農業・食料・環境を考える山形県民シンポジウム～私たちの挑戦～』
2. 工学部『プロセス革新のための産学連携セミナー』
3. 大学コンソーシアムやまがた『やまがたサイエンス・カフェ「科学捜査に挑戦！」』
4. 大学コンソーシアムやまがた『連携型教育フォーラム』
5. 工学部『山形の企業4社を巡る1泊2日バスの旅』
6. 大学コンソーシアムやまがた
『「大学コンソーシアムやまがたを基盤とする地域教育研究機能の強化」報告会』
7. SCITAセンター『科学体験教室』
8. 大学院理工学研究科
『産学官連携によるグローバル人材育成のためのシンポジウム』
9. 工学部『米沢バイオ公開セミナー・シンポジウム』

(参 考)

- 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成23年3月1日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

平成23年2月15日
山形大学

就活バスの支援、発進！

首都圏において就職活動をする学生の経済的負担を軽減するために、バス運賃の半額を支援します。

「結城プラン2011」で掲げた、就職活動のために利用する、首都圏までの夜行バス運賃の支援を開始します。

実施期間：平成23年3月1日（火）～平成23年6月30日（木）

対象学生：平成24年3月卒業見込みの学部学生

対象活動：採用試験（公務員、教員採用試験を含む。）及び企業説明会

支援額：往復料金の半額（片道利用は支援対象外）

なお、1学生当たり2回を限度。

対象路線：

【山形⇄東京】

オリオンツアー、ウィラートラベル、JRバス、東北急行（山交バス）

【米沢⇄東京】

東北急行（山交バス）

【鶴岡⇄東京】

オリオンツアー、ウィラートラベル、庄内交通

(お問い合わせ)

学務・入試企画室

電話:023(628)4140

「結城プラン2011」 就職活動バス支援のお知らせ

首都圏において就職活動をする学生を対象に、
夜行バス料金の**半額**を大学が支援します。

実施期間：平成23年3月1日～平成23年6月30日

対象学生：平成24年3月卒業見込みの学部学生

対象活動：採用試験（公務員，教員採用試験を含む。）・企業説明会

対象路線：山形⇄東京【オリオンツアー，ウィラートラベル，JRバス，東北急行（山交バス）】

米沢⇄東京【東北急行（山交バス）】

鶴岡⇄東京【オリオンツアー，ウィラートラベル，庄内交通】

支援額：往復料金の半額（片道利用は支援対象外）

（1人2回までのご利用が可能です。）

事前の申請が必要です。詳しくは、各キャンパスの就職支援担当窓口又はホームページをご覧ください。



支援対象就職活動バス一覧

山形・米沢・鶴岡 → 東京方面

バス会社	ウィラー	オリオン	東北急行(山交バス)	JRバス東北	庄内交通
乗下車場所	夜行便				
	4823	202(1)2			
鶴岡	21:50	20:50			22:35
山形	23:50	23:40	21:50	23:50	22:50 ↓
仙台	↓	↓	↓	↓	↓
米沢	↓	↓	22:10	↓	↓
	↓	↓	↓	↓	↓
池袋	↓	↓	↓	↓	5:55
新宿	5:50	5:40	↓	↓	4:40 6:30 <small>(渋谷発)</small>
東京	6:20	6:10	5:34	5:45	5:10

<予約について>

すべて予約制となります。小白川店・工学部店・医学部店は当日予約・当日利用可。農学部店においては、東北急行、庄内交通を利用される方は前日予約となります。

<料金について>

高速バス料金は、オリオンツアー・ウィラートラベルについては、利用日により料金が設定されております。JRバス・東北急行・庄内交通は固定の料金となります。

山形～東京夜行高速バス料金

バス会社	片道	往復	便数/日
オリオンツアー	3,800～6,100円	7,400～12,000円	1
ウィラートラベル	3,800～6,900円	7,500～13,700円	1
JRバス	6,300円	11,500円	1
東北急行(山交バス)	6,420円	11,930円	2(※)

※金曜日は下り線のみ3便

東京方面 → 山形・米沢・鶴岡

バス会社	ウィラー	オリオン	東北急行	JRバス東北	庄内交通
便名	夜行便				
	4723	202(1)1			
東京	22:30	23:15	22:30	22:50	
新宿	23:25	23:55	↓	↓	23:30 22:30 <small>(渋谷発)</small>
池袋	↓	↓	↓	↓	23:10
	↓	↓	↓	↓	↓
米沢	↓	↓	5:04	↓	↓
仙台	↓	↓	↓	↓	↓
山形	5:20	5:30	6:20	4:20	5:10
鶴岡	7:15	8:10			6:25

米沢～東京夜行高速バス料金

バス会社	片道	往復	便数/日
東北急行(山交バス)	5,660円	10,910円	1(※)

※金曜日は下り線のみ2便

鶴岡～東京夜行高速バス料金

バス会社	片道	往復	便数/日
オリオンツアー	4,300～6,600円	8,400～13,000円	1
ウィラートラベル	4,300～7,400円	8,500～14,700円	1
庄内交通	7,540円	13,570円	1(※)

※木曜日～日曜日のみ往復2便

平成23年2月15日
山形大学

『世界俯瞰の匠』がS評価！

地域再生人材創出拠点の形成に向けて実施中の「『世界俯瞰の匠』育成プログラム」が、科学技術振興調整費中間評価において最高の《S》評価を受けました。

今般、競争的研究資金である科学技術振興調整費の中間評価及び事後評価が行われ、本学の実施する「世界俯瞰の匠育成プログラム」が最高ランクのS評価を受けました。

「世界俯瞰の匠育成プログラム」は、国の「地域再生人材創出拠点の形成」プログラムとして平成20年度に採択され今年が3年目となります。地域産業の活性化などの地域課題の解決に向け、大学が自治体との連携により、科学技術を活用して地域活性化に貢献する優秀な人材を輩出する「知の拠点」を形成するものです。山形大学の「世界俯瞰の匠育成プログラム」は、ものづくり産業のグローバル化に対応して、総合的に世界市場を俯瞰できる技術経営人材『世界俯瞰の匠』を養成する大学院修士課程です。

今回の評価の対象となったのは、中間評価38課題、事後評価48課題の合計86課題で、そのうち、最高ランクのS評価を受けたのは、中間評価7課題、事後評価10課題の計17課題でした。「地域再生人材創出拠点の形成」分野では、全国で13課題が中間評価の対象となり、山形大学の「世界俯瞰の匠育成プログラム」を含む2課題がS評価を受けました。

山形大学の「世界俯瞰の匠育成プログラム」は、地域産業の将来を担う人材にとって重要な内容となっていることに加え、地域産業に貢献するという姿勢が明確で、地方大学のモデルとなる取り組みであるとして高く評価されました。

今回の中間評価を経て、平成24年度まで国の助成を得てプログラムが継続実施されることとなります。

(お問い合わせ)

大学院理工学研究科ものづくり技術経営学専攻
電話:0238(26)3623

平成23年2月15日
山形大学

『“山形大学流” グリーン!』シンポジウム

YU-COE「プリントドエレクトロニクス産業基盤創生」と
山形大学グリーン・サイエンスネットワークが
合同シンポジウムを開催します。

日時：平成23年2月22日（火）13:00～17:00
場所：山形大学理学部13番講義室
参加料：無料

山形大学グリーン・サイエンスネットワークは、山形大学の豊富なグリーンサイエンス資源と山形という地域の特徴を活かし、新しい研究領域の開拓や教育プログラムの創生を目指して、平成21年度に立ち上げられました。

環境調和型ものづくりからライフスタイルに至るまでの広範な領域の研究教育をカバーするネットワークです。

その領域の一つに、環境調和型ものづくりプロジェクトがあります。資源やエネルギーを有効に使うような工夫をして優れた機能性を持つ物質を作り出すプロジェクトです。

その中でも、今年度YU-COEに選ばれた「プリントドエレクトロニクス産業基盤創生」は、次の我が国の産業基盤として大きな期待が寄せられている分野です。

その取り組みを推進している、産学官のグループが一堂に会し、シンポジウムを開催します。

※YU-COE（山形大学先進的研究拠点）：

地域に根ざし世界をリードする大学として、国際的に通用する高い水準にある研究拠点や、その研究成果により地域に大きく貢献すると認められる研究拠点を重点的に支援するとともに、将来、そのような拠点となり得る学内の研究グループを発掘、育成します。

※プリントドエレクトロニクス：

フレキシブル性が高い有機基盤に印刷によって回路形成（パターニング）を行う技術。

（お問い合わせ）

山形大学グリーン・サイエンスネットワーク(代表 鶴浦 啓)
電話:023(628)4585

2010年度 YU-COE「プリントドエレクトロニクス産業基盤創生」
山形大学グリーン・サイエンスネットワーク

合同シンポジウム

“山形大学流”グリーン・イノベーション

日時:2011年2月22日(火) 13:00 ~

場所:山形大学理学部13番講義室

主催:山形大学グリーン・サイエンスネットワーク



プログラム

12:40 ~ 受付(山形大学理学部1号館1階ロビー)

13:00 開会挨拶

13:10~15:00 2010年度 YU-COE 関係

栗原正人(山形大学理学部 准教授)

ナノ微粒子分散液を用いたプリントドエレクトロニクス産業基盤創生

畑克彦(バンドー化学(株) R&Dセンター)

プリントドエレクトロニクスに向けた金属ナノ粒子材料の開発

村山秀樹(山形大学農学部 教授)

銀ナノ微粒子の抗菌性を利用した切り花の鮮度 保持に関する研究

川本徹(産業技術総合研究所ナノシステム研究部門グリーン

テクノロジー研究グループ長)

エレクトロクロミックナノ粒子を用いた塗布・印刷による調光・表示素子

15:10~17:00 山形大学グリーン・サイエンスネットワーク関係

菅澤瑞穂(山形大学理学部生物学科3年)

県民の森プロジェクト

丸山貴昭(山形大学理工学研究科修士2年)

グリーン塾の英語学習

岡村翔太(山形大学理学部物質生命化学科1年)

色素増感太陽電池

(15:50 ~ 16:50)

塩野義人(山形大学農学部 准教授)

未利用微生物資源からの生理活性物質の探索

岩滝光義(山形大学理学部 准教授)

有害赤潮藻類の識別と分布

16:50 学長挨拶(山形大学 学長 結城章夫)

問い合わせ先: 山形大学グリーン・サイエンスネットワーク(代表:山形大学理学部 鶴浦 啓)

E-mail: unoura@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

TEL/FAX: 023-628-4585

お問い合わせは出来ればE-mailをお願いします。

プレス通知資料（概要）

平成23年2月15日
山形大学

1. 農学部『農業・食料・環境を考える山形県民シンポジウム～私たちの挑戦～』

（概要）山形大学農学部、農業大学校、農業高校が、最新の農学研究や農業学習に関する成果を紹介します。

農学や農業学習の面白さを理解していただき、これからの農業の未来を語り合い、農業の魅力を発信し、山形県農業の発展に資することを目的としています。

日時:平成23年2月16日(水) 13:00～16:00

場所:山形国際交流プラザ「山形ビッグウイング」大会議室(山形市平久保)

参加費:無料、参加自由・申込不要

[詳しくは、別添の資料をご覧ください。]

問い合わせ:山形県立農業大学校(事務局)

(TEL)0233-22-1527

2. 工学部『プロセス革新のための産学連携セミナー』

（概要）産学連携にはさまざまな形が考えられますが、現在の製造プロセスに対して大学が持つ理論的・科学的手法を活用し、生産効率や付加価値を上げるという連携が、より現実的でないでしょうか。このセミナーでは、企業の具体的なプロセスが大学の研究シーズとどのように関わっていけるのか、みなさまと一緒に考えていきます。

日時:平成23年2月17日(木) 14:30～18:30

場所:山形国際ホテル 3階富士の間(山形市香澄町)

参加費:無料(懇親交流会に参加される方のみ1,000円)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください。]

問い合わせ:山形市商工観光部商工課工業係

(TEL)023-641-1212(内線418)

3. 大学コンソーシアムやまがた『やまがたサイエンス・カフェ in やまがた

「科学捜査に挑戦！－DNAで犯人を捜せ－」

(概要) DNAは生物の遺伝的な形質を規定する設計図であり、その遺伝情報の実体はDNAの塩基配列にあります。近年、DNAや遺伝子組換えに関する技術は飛躍的な発展を遂げ、犯罪捜査や遺伝子診断・遺伝子治療・ゲノム創薬といった医療分野や、食糧問題・環境問題・エネルギー問題等の解決にも大きな期待が寄せられています。

今回は、DNAに関する講義と科学捜査に使われる簡単なDNA分析実験をとおして、未来の地球を救う遺伝子工学技術をご説明します。

日 時:平成23年2月23日(水) 16:30～17:30

会 場:山形大学SCITAセンター(山形市:小白川キャンパス)

対象者:中学生・高校生 参加料無料

講 師:神奈川工科大学 応用バイオ科学部 応用バイオ科学科

小池 あゆみ 准教授

[詳しくは、別添の資料をご覧ください。]

問い合わせ:大学コンソーシアムやまがた事務局(ゆうキャンパスステーション 担当:小玉)
(TEL)023-628-4804

4. 大学コンソーシアムやまがた『連携型教育フォーラム』

(概要) 大学コンソーシアム関係者並びに山形県内自治体職員の皆さまに、連携型教育推進事業を紹介しながら、他の大学コンソーシアムにおける地域課題対応関連事業の事例報告を受けて、「大学コンソーシアムは地域課題にどのように向き合えるか」について意見交換を行います。

日 時:平成23年3月1日(火) 13:30～16:00

会 場:ゆうキャンパス・ステーション(山形市:山形むらきさわビル1階)

対象者:大学コンソーシアムやまがた及び他大学コンソーシアム関係者、

県内自治体職員 等 50名

[詳しくは、別添の資料をご覧ください。]

問い合わせ:大学コンソーシアムやまがた事務局
(TEL)023-628-4804

5. 工学部『山形の企業4社を巡る1泊2日バスの旅』

(概要) このバスツアーは山形県内のものづくり企業を訪問し、実際に働く現場に足を踏み入れ、経営者らとの意見交換を通して、企業や経営者本来の姿の理解を深めるものです。同時に、様々な場面での議論を経験することによって、これまでの自分自身と向き合うきっかけをつくります。

日 時:平成23年3月1日(火)～2日(水) 1泊2日

訪問企業:エムテックスマツムラ(株)(尾花沢工場)、大蔵精機(株)(山形市)
(株)片桐製作所(上山市)、(株)鈴木製作所(山形市)

対象者:山形大学工学部1年～4年、大学院理工学研究科1年 20名

[詳しくは、別添の資料をご覧ください。]

問い合わせ:テクノプラザやまがた‘84 バスツアー事務局 担当:高橋
(E-mail) cplus.yt@gmail.com

6. 大学コンソーシアムやまがた

『「大学コンソーシアムやまがたを基盤とする地域教育研究機能の強化」報告会』

(概要) 平成20年度～22年度に実施した「大学コンソーシアムやまがたを基盤とする地域教育研究機能の強化」の事業内容を振り返り、目的・計画どおり遂行できたかを評価します。あわせて、来年度以降の活動のあり方について議論します。

日 時:平成23年3月3日(木) 13:30～17:00

会 場:ゆうキャンパス・ステーション(山形市:山形むらきさわビル1階)

対象者:全国大学コンソーシアム及び大学関係者 50名

[詳しくは、別添の資料をご覧ください。]

問い合わせ:大学コンソーシアムやまがた事務局
(TEL)023-628-4804

7. SCITAセンター『科学体験教室』

(概要) 『みんなで科学をもっと身近に！』を合い言葉に、科学コミュニケーションをはじめてみませんか。

日 時:平成23年3月6日(日) 10:00～15:00

会 場:霞城セントラル 1階 アトリウム

参加料無料 小さなお子様は保護者同伴でお願いします。

実施内容:スライム実験、クラゲ観察会、蔵王展、粘菌展、太陽コピー
キーホルダー作り、実験カーダンス

[詳しくは、別添の資料をご覧ください。]

問い合わせ:SCITAセンター
(TEL)023-628-4506

8. 大学院理工学研究科『産学官連携によるグローバル人材育成のためのシンポジウム』

(概要) これからの日本企業の事業展開や生き残りのためにカギとなるのが、優秀な国際人材の確保と人材育成のための仕組みの構築です。

このシンポジウムでは、これからの時代を切り拓くための「国際人材の育成」に焦点をあてて、議論を深めます。

日 時:平成23年3月7日(月) 14:30~17:00

場 所:東京第一ホテル米沢 2階 桜園の間(米沢市中央)

参加費:無 料

[詳しくは、別添の資料をご覧ください。]

問い合わせ:山形大学理工学研究科

ものづくり技術経営学専攻とうほくMITRAI(みらい)コース

(TEL)0238-26-3622(当日は、0238-26-5570)

9. 工学部『米沢バイオ公開セミナー・シンポジウム』

(概要) 米沢でのバイオ分野の研究は始まったばかりです。バイオ分野の研究の発展と新たな拠点となることを目指し、バイオの基本を知り、その先端研究に触れるための公開セミナー・シンポジウムを開催します。

日 時:平成23年3月9日(水) 13:30~17:15

平成23年3月10日(木) 13:00~16:40

場 所:山形大学工学部百周年記念会館(米沢市・工学部キャンパス)

参加費:無 料

[詳しくは、別添の資料をご覧ください。]

問い合わせ:山形大学工学部バイオ化学工学科

(TEL)0238-26-3180

10. これまでの学長定例会見でお知らせをしたもので開催がせまっているイベント
当日の取材をよろしく願いいたします。

○大学コンソーシアムやまがた『やまがた夜話』（2月分）

【第13回】

日 時:平成23年2月16日(水) 18:30～19:30

講 師:安房 毅 氏(株式会社タカハタ電子 代表取締役)

「逞しい モノ創り ひと創り ゆめ創り」

【第14回】

日 時:平成23年2月23日(水) 18:30～19:30

講 師:平林千春 氏(東北芸術工科大学教授)

「市場創発型産学連携プロジェクトの展開」

場 所:ゆうキャンパス・ステーション(山形市:山形むらきさわビル1階)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください。]

問い合わせ:大学コンソーシアムやまがた事務局

(TEL)023-628-4842

○大学院理工学研究科『ものづくり技術経営学専攻（MOT）入学説明会』

・山形会場:山形市、上山市、山形大学共催「プロセス革新のための産学連携セミナー」

日 時:平成23年2月17日(木) 14:30～17:00

場 所:山形国際ホテル(山形市)

講 師:山形大学大学院理工学研究科教授 小野 浩幸

[詳しくは、別添の資料をご覧ください。]

問い合わせ:山形大学大学院理工学研究科ものづくり技術経営学専攻事務局

(TEL)0238-26-3623

○人文学部『国際学術講演会「共振する東アジア2-東アジアの言語の将来-」』

日 時:平成23年2月19日(土)13:00～17:30

場 所:山形大学人文学部第一会議室(山形市・人文学部1号館4階)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください。]

問い合わせ:山形大学人文学部人間文化学科 中澤信幸准教授

(TEL)023-628-4822

○**拡がりゆく数学 in 山形 ～数学はどんな形で社会で役立つか～**

日 時:平成23年2月20日(日) 13:15～17:40

場 所:山形大学理学部 先端科学実験棟大講義室(山形市・小白川キャンパス)

対 象:高校生及び一般の方 100名程度

[詳しくは、別添の資料をご覧ください。]

問い合わせ:理学部数理科学科准教授 原田昌晃

(TEL)023-628-4533

○**工学部『有機エレクトロニクス シンポジウム in 米沢 2011**

－有機エレクトロニクスの未来を切り開く－

日 時:平成23年2月25日(金) 10:00～12:00

(同日午後高分子学会主催 第8回有機EL 異業種交流会を開催)

場 所:伝国の杜 置賜文化ホール(米沢市丸の内)

参加費:無 料

[詳しくは、別添の資料をご覧ください。]

問い合わせ:工学部研究支援室

(TEL)0238-26-3004

○**有機EL研究会『第8回異業種交流会』**

日 時:平成23年2月25日(金) 13:00～19:00

場 所:伝国の杜、上杉城史苑(米沢市丸の内)

プログラム: ショートプレゼンテーションは参加者の前で企業紹介(5分/1社)を、パネル展示はブースを使用して企業紹介を行います。

問い合わせ:(社)高分子学会 有機EL研究会係

〒104-0042 東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル6F

(TEL)03-5540-3771 (FAX)03-5540-3737

○**「社会人基礎力育成グランプリ」決勝大会進出**

【決勝大会】

日 時:平成23年3月9日(水) 10:30～18:00

場 所:日経ホール(東京都千代田区大手町 1-3-7)

問い合わせ:工学部広報室 青木

(TEL)0238-26-3419

第1回 農業・食料・環境を考える山形県民シンポジウム

～ 私たちの挑戦 ～

山形大学農学部、農業大学校、農業高校の学生・生徒及び教職員が一堂に会し、最新の農学研究や農業学習に関する成果を紹介し、県民の皆様に農学や農業学習の面白さを理解していただき、これからの農業を担う若者が未来を語り合い、農業の魅力を発信するとともに、山形県農業の発展に資することを目的とするシンポジウムです。

期 日：平成23年2月16日（水）13：00～16：00
場 所：山形国際交流プラザ「山形ビッグウイング」大会議室
〒990-0076 山形市平久保100番地 TEL 023-635-3100

参加費：無料

申込等：参加自由、申込不要

■開会 13：00

開会の挨拶 山形県立農業大学校 百瀬 清昭 氏

挨拶 山形県知事 吉村 美栄子 氏、山形大学学長 結城 章夫 氏

■シンポジウム 13：20～14：20

学生生徒による「山形の農と食と環境を担う私たちの挑戦」

① 農業高等学校生徒の発表

② 農業大学校学生の発表

③ 山形大学農学部学生の発表

■パネルディスカッション 14：30～15：50

テーマ 「農と食と環境 ～私たちの挑戦～」

領域 農業技術、農業経営、食育、環境、地域振興、特産物開発等

司会 山形大学農学部教授 安藤 豊 氏

アドバイザー 山形大学農学部准教授 金 成学 氏

パネラー ガールズ農場 高橋 菜穂子 氏

農業実践者 農業法人社員 6次産業実践者 消費者

■閉会 16：00

閉会の挨拶 山形大学農学部長 安田 弘法 氏

◎お問い合わせ先 山形県立農業大学校（事務局） TEL0233-22-1527

主 催

山形大学農学部 山形県立農業大学校（事務局）山形県立上山明新館高等学校

山形県立寒河江高等学校 山形県立村山農業高等学校 山形県立新庄神室産業高等学校

山形県立置賜農業高等学校 山形県立庄内農業高等学校

後 援

山形大学 山形県 山形県教育委員会

プロセス革新のための

産学連携セミナー

産学連携にはさまざまな形が考えられますが、現在の製造プロセスに対して大学が持つ理論的・科学的手法を活用し、生産効率や付加価値を上げるという連携が、より現実的でないでしょうか。このセミナーでは、企業の具体的なプロセスが大学の研究シーズとどのように関わっていきけるのか、みなさまと一緒に考えていきます。

受付開始は 13:50 から

日時	平成23年2月17日 木 14:30~
場所	山形国際ホテル 3階富士の間 山形市香澄町 3-4-5 TEL 023-633-1313
会費	無料 (第3部 懇親交流会』に参加される方のみ 1,000円)
内容	開会 14:30 主催者あいさつ 第1部 14:45 ■ 基調講演 『地域ぐるみ(産学官金)の連携の新たな挑戦』 山形大学国際事業化研究センター副センター長 小野浩幸氏 若手経営者塾や産学官金コーディネーター 応援センターなど活動概要の紹介と山形大学大学院ものづくり技術経営学専攻についての紹介 など ■ 事例紹介 じんだん本舗 株式会社大江 常務取締役 大江正義氏 山形大学国際事業化研究センター コーディネーター 加藤博良氏 企業とコーディネーター、大学との実際の関わり方を紹介 休憩 15:45 第2部 16:00 ■ セミナー 『プロセス革新を考えてみる』 山形大学国際事業化研究センター副センター長 小野浩幸氏 実際にプロセス革新のための科学・技術シーズ集を使いながら、製造ライン技術を再検証してみる。 第3部 17:30 ■ 懇親交流会 ざっくばらんな懇親交流会です。情報交換や交流の場としてご活用ください。 * 自由参加ですが事前に申込みが必要となります。なお、軽食及びアルコール飲料の提供もありますので、飲酒運転は絶対にしないようにお願いします。 (18:30 終了予定)

申込

裏面の申込書に必要事項をご記入の上、
FAX 又は郵送にてお申し込みください

締切
2月10日

主催 : 山形大学工学部, 山形市, 上山市, 東南村山商工会広域連携協議会

共催 : 米沢工業会山形支部, 山形大学国際事業化研究センター

後援(予定) : 東北経済産業局, 山形県, 山辺町, 中山町, (財)山形大学産業研究所, (独)中小企業基盤整備機構東北支部, (財)山形県産業技術振興機構, (財)山形県企業振興公社, 山形県商工会連合会, 山形商工会議所, 山形県中小企業団体中央会, 山形銀行, 荘内銀行, きらやか銀行, 山形信用金庫, 米沢信用金庫

プロセス革新のための産学連携セミナー 参加申込書

企業/団体名		TEL	
住所		FAX	
	氏名	役職	懇親交流会への参加 (いずれかに丸をお付けください)
1			参加 ・ 不参加
2			参加 ・ 不参加
3			参加 ・ 不参加
4			参加 ・ 不参加
5			参加 ・ 不参加

ご記入いただいた個人情報等は、本事業以外の目的には使用しません。なお、記入欄が不足する場合は、恐れ入りますが必要に応じコピーしてお使いください。

申込書に必要事項をご記入の上、下記の宛先にFAX又は郵送でこのままお送りください

2月10日(木)締切です

宛先・お問合せ先

下記のいずれのところでも受け付けます

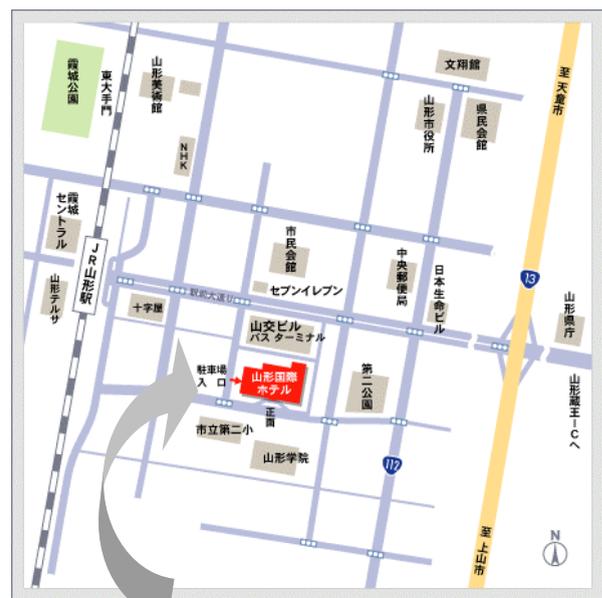
山形市商工観光部商工課工業係
〒990-8540 山形市旅籠町2-3-25
TEL 023-641-1212 (内線418)
FAX 023-624-8896

上山市商工課商工振興グループ
〒999-3192 上山市河崎1-1-10
TEL 023-672-1111 (内線183)
FAX 023-672-1112

東南村山商工会広域連携協議会
(幹事上山市商工会)
〒999-3135 上山市南町8-21
TEL 023-672-2057
FAX 023-672-3916

【注意】駐車台数に限りがあります。ホテル駐車場が満車のときは近隣の民間駐車場をご案内しますが、有料となりますのでご了承ください。

会場案内



山形国際ホテル

山形市香澄町3-4-5
TEL 023-633-1313

* JR山形駅から徒歩5分(山交ビル南側)

第4回 やまがたサイエンス・カフェ YAMAGATA SCIENCE CAFE in やまがた

講演テーマ

「科学捜査に挑戦！—DNAで犯人を捜せ—」

DNAは生物の遺伝的な形質を規定する設計図であり、その遺伝情報の実体はDNAの塩基配列にあります。近年、DNAや遺伝子組換えに関する技術は飛躍的な発展を遂げ、“ヒト”の全設計図も明らかになりました。こうした科学技術は、微量血液からDNAを採取・鑑定することにより個人を識別する犯罪捜査や遺伝子診断・遺伝子治療・ゲノム創薬といった医療分野のみならず、21世紀における食糧問題・環境問題・エネルギー問題等の解決にも貢献する技術として大きな期待が寄せられています。今回は、DNAに関する講義と科学捜査に使われる簡単なDNA分析実験を通して、未来の地球を救う遺伝子工学技術をご説明します。



講師

神奈川工科大学 応用バイオ科学部
応用バイオ科学科 准教授

小池 あゆみ氏

●プロフィール●

神奈川工科大学 応用バイオ科学部
応用バイオ科学科 准教授

主な研究分野

- バイオテクノロジー
- タンパク質化学
- 機能生物化学

日時

2011年2月23日(水) 16:30-17:30

対象

中学生・高校生 定員：30名

参加無料

会場

山形大学理学部SCITAセンター実験室

主催

大学コンソーシアムやまがた・山形県

お申込

電話・メールまたはゆうキャンパスHPからお申し込みください。
氏名・性別・学校名・学年を明記しお送りください。(2月22日締切)
<http://unicon.kj.yamagata-u.ac.jp/>

アクセス

山形駅前バス乗り場より、山交バス県庁前待合所行乗車(5番乗り場)
南高前下車、徒歩5分。

お申込み・お問合せ

大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

連携型教育フォーラム

日時 平成23年3月1日(火) 13:30~16:00

場所 ゆうキャンパス・ステーション

(山形市香澄町1-3-15 山形むらさきさわビル1階 023-628-4842)

対象者 大学コンソーシアムやまがた及び他大学コンソーシアム関係者
県内自治体職員 50名程度

プログラム

1. 大学コンソーシアムやまがた連携型教育推進事業報告(30分)

山形大学教授 横井 博 氏

2. 連携型科目開発の事例報告(各20分)

「公益社会演習」 東北公益文科大学教授 呉 尚浩 氏

「<遊具>を創る」 東北芸術工科大学教授 片桐 隆嗣 氏

3. 大学コンソーシアムせと事例報告(30分)

「まちづくり施策協働プログラム」

大学コンソーシアムせと地域交流事業部及び教育事業部委員 坂本 剛 氏

(名古屋産業大学環境情報ビジネス学部准教授)

4. 意見交換(30分)

テーマ「大学コンソーシアムは地域課題にどのように向き合えるか」

司会 山形大学人文学部准教授 下平 裕之 氏

パネリスト 名古屋産業大学准教授 坂本 剛 氏

東北公益文科大学教授 呉 尚浩 氏

東北芸術工科大学教授 片桐 隆嗣 氏

山形大学教授 横井 博 氏

ゆうキャンパス・ステーション
(JR山形駅から東方へ約150m)



主催 大学コンソーシアムやまがた連携型教育研究会

申込方法 電話・FAXまたはE-MAILにて、氏名・所属・連絡先を
下記申込先へお知らせください。

申込期限 平成23年2月25日(金)

お申込み・お問合せ先

大学コンソーシアムやまがた事務局 (山形大学 大学連携推進室 横井・伊藤)

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 TEL:023-628-4974 FAX:023-628-4078

E-Mail: unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

参加費無料

学生
募集中

2月3日申込×切

あのバスの行きつく場所には
感動の出会いと新しい発見がある

photo by シーラ



山形の企業4社を巡る1泊2日バスの旅

注：求人のための工場見学・会社説明会ではありません

【概要】このバスツアーは山形県内のものづくり企業を訪問し、実際に働く現場に足を踏み入れ、経営者らとの意見交換を通して、企業や経営者本来の姿の理解を深めるものです。同時に、様々な場面での議論を経験することによって、これまでの自分自身と向き合うキッカケをつくります。

【期日】平成23年3月1日(火)・2日(水)
1泊2日(ホテル宿泊予定)

【訪問企業】エムテックスマツラ株式会社(尾花沢工場)
大蔵精機株式会社(山形市)
株式会社片桐製作所(上市市)
株式会社鈴木製作所(山形市)

【参加費用】無料

【定員】20名(応募者多数の場合は抽選にて決定)

【対象】山形大学工学部1年～4年
山形大学大学院1年 ※社会人学生は除く

【申込締切】2月3日(木)17:00まで

【申込方法】裏面の申込み用紙を記入の上、5号館2階キャリアサービスセンター南側掲示板付近に設置している申込用紙回収箱に投函ください。
2月4日以降、申込者全員に対し参加の可否通知をメールあるいは電話いたします。

【その他】山形大学の教員が1名同行します。

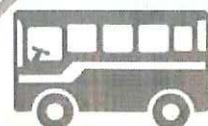
2～3時間程度の事前指導があります。

(日程は参加者が決定次第連絡します)

山形大学工学部発着バスでの移動になります。
発着時間等の詳細は2月中旬頃ご連絡致します。
本企画は就職に直結するものではありません。

【問い合わせ】cplus.yt@gmail.com

バスツアー事務局 担当：高橋



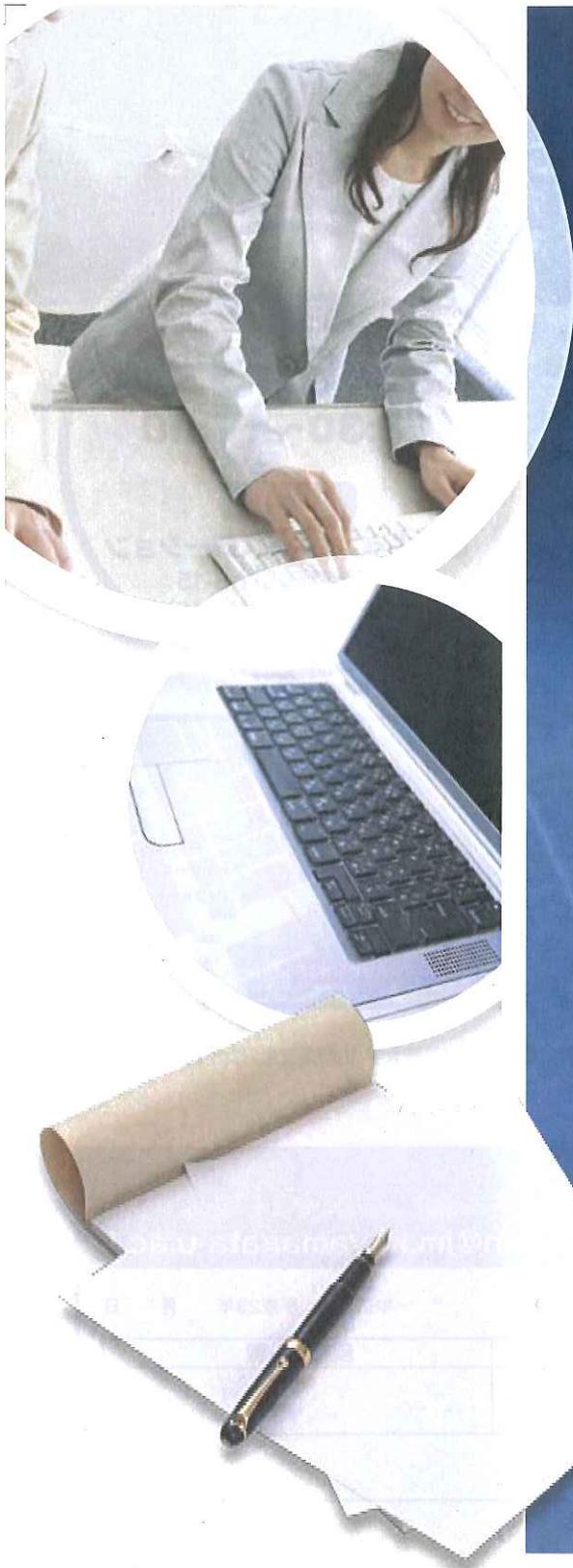
主催 テクノプラザやまがた'84
協力(財)山形県企業振興公社 山形大学工学部

応募者多数の場合、抽選となります。抽選の結果は2月4日以降、
申込者全員にご連絡致します。



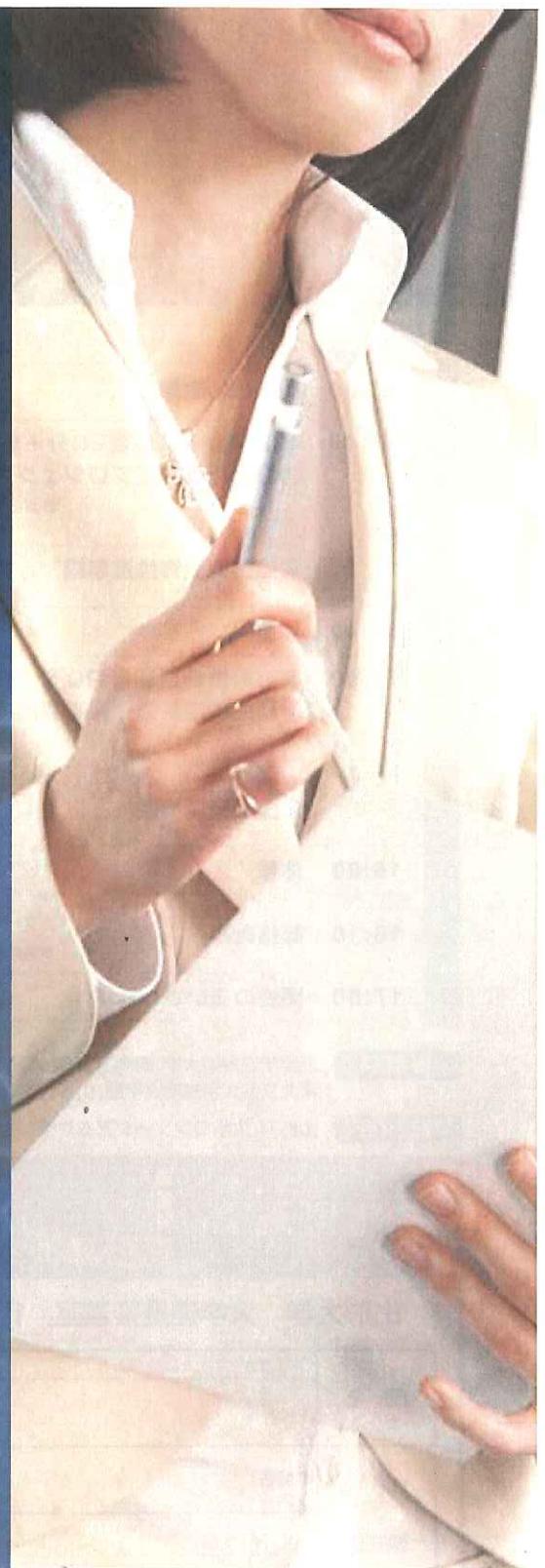
申込記入事項	
(フリガナ) お名前	() 男 ・ 女
学科・専攻	工学部 大学院理工学研究科 学科 専攻
電話（携帯電話）	
e-mail	@
現住所	
生年月日	年 月 日 （満 歳）
出身都道府県	
バスツアー参加経験	<p>同様のバスツアーに参加した経験はありますか？</p> <p>なし ・ あり</p> <p>※ありの方は下記の参加したツアーに○をつける</p> <p>①2009年8月の工学部バスツアー</p> <p>②2010年9月の工学部バスツアー</p> <p>③その他 開催時期： 年 月 開催地： 県</p>
申込理由・動機	<p>【注】基本的に全てご記入頂かないとエントリーできませんのでご注意ください。</p>
質問・特記事項	何かありましたらご記入下さい。

ご記入頂きました個人情報はバスツアー以外の目的には使用致しません。



文部科学省「大学教育充実のための戦略的・大学連携支援プログラム」

「大学コンソーシアムやまがたを基盤とする 地域教育研究機能の強化」報告会



日時 平成23年
3月3日(木) 13:30~17:00

会場：ゆうキャンパス・ステーション
山形市香澄町1-3-15(山形むらさきビル1F)

対象者

全国大学コンソーシアム及び
大学関係者 50名

目的

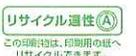
平成20年度~22年度に実施した「大学コンソーシアムやまがたを基盤とする地域教育研究機能の強化」の事業内容を振り返り、目的・計画どおり遂行できたかを評価する。あわせて、来年度以降の活動の事業のあり方について議論する。

企画・実施 大学コンソーシアムやまがた事業評価委員会

- 申込方法 テラシ裏面の申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはE-MAILにてお申し込みください。
- 申込期限 平成23年2月25日(金)

お問合せ先 山形大学 大学連携推進室(大学コンソーシアムやまがた事務局)

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12
TEL.023-628-4804 FAX.023-628-4078
E-MAIL dairen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



「大学コンソーシアムやまがたを基盤とする 地域教育研究機能の強化」報告会

日時

平成23年**3月3日(木)**
13:30~17:00

会場

ゆうキャンパス・ステーション
山形市香澄町1-3-15
(山形むらさわビル1F)

内
容

13:30	開催趣旨説明	事業評価委員会委員長 (山形大学人文学部教授) 山崎 彰
13:40	事業報告1 [(報告20分+質疑10分)×2] ①最上川学教育プロジェクト事業	最上川学プロジェクト推進委員会副委員長 (山形大学人文学部准教授) 下平 裕之
	②連携型教育推進事業	連携型教育推進コーディネーター (山形大学大学連携推進室教授) 横井 博
14:40	休憩	
15:00	事業報告2 [(報告20分+質疑10分)×2] ③研究環境整備・産学官連携事業	知的財産コーディネーター (山形大学大学連携推進室教授) 前田 裕司
	④国際交流事業	国際交流コーディネーター (山形大学大学連携推進室教授) 山崎 真二
16:00	休憩	
16:10	総括討議	ファシリテーター：事業評価委員会委員長 山崎 彰 参加者：事業評価委員会委員及び各事業報告者
17:00	閉会のあいさつ	事業評価委員会委員長 山崎 彰



連携校 羽陽学園短期大学、鶴岡工業高等専門学校、東北芸術工科大学、東北公益文科大学、山形県立保健医療大学、山形県立米沢女子短期大学、東北文教大学短期大学部、山形大学(代表校)

関係自治体・団体 山形県、大学コンソーシアムやまがた

参加申込書

■申込方法 申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはE-MAILにてお申し込みください。
 ■申込期限 平成23年2月25日(金)
 ■お問合せ先 山形大学 大学連携推進室(大学コンソーシアムやまがた事務局) 〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 TEL.023-628-4804

FAX 023-628-4078 **E-MAIL dairen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp**

山形大学 大学連携推進室 行き

申込日 平成23年 月 日

氏名	フリガナ			部署・役職
連絡先	機関名			
	TEL ()	—	FAX ()	—
	E-MAIL			

氏名	フリガナ			部署・役職
連絡先	機関名			
	TEL ()	—	FAX ()	—
	E-MAIL			



日時 平成23年3月6日(日)

10:00~15:00

場所 霞城セントラル 1階 アトリウム

- ・スライム実験 ・クラゲ観察会
- ・蔵王展 ・粘菌展 ・太陽コピー
- ・キーホルダー作り ・実験カーダンス

参加料無料 小さなお子様は保護者同伴でお願いします

- ・主催 やまがた『科学の花咲く』プロジェクト(提案:山形県、運営:山形大学)
(JST地域の科学舎推進事業「地域ネットワーク支援」)
- ・共催 鶴岡市立加茂水族館、東北文教大学・短期大学部
山形県立博物館、学校法人龍華学園
- ・後援 世界化学年日本委員会



リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

産官学連携によるグローバル人材育成のためのシンポジウム

“もっとみらい”コンソーシアム 第2回定期総会

テーマ

グローバルな時代を勝ち抜くための国際人材育成の仕組み
—これまでの山形大学における先進的な取り組みから—

受付開始	14:00~
【第一部】 14:30 ↓ 15:30	●「開会の挨拶」 Y-MOTネットワーク代表 濃邊 毅氏 山形大学大学院理工学研究科研究科長・工学部長 大場 好弘氏
	●「国際経済の多様化と国際人材育成の重要性」 山形大学大学院理工学研究科 准教授 とうほくMITRAIコース・プロジェクト推進担当 綾部 誠氏
	●「山形大学におけるビジネス日本語教育の成果」 山形大学大学院理工学研究科 とうほくMITRAIコース 語学教育担当 准教授 仁科 浩美氏 講師 楊 帆氏
	●「とうほくMITRAIコース在校生による発表」 とうほくMITRAI在校生
【第二部】 15:30 ↓ 17:00	●「拡大する中国経済と日本のものづくり企業の海外戦略」 山形大学 産学連携教授 柴田 孝氏
	●「海外展開する日系企業の人材育成と海外戦略」 山形大学大学院理工学研究科 教授 とうほくMITRAIプロジェクトリーダー 高橋 幸司氏
	●「国際人材育成政策と中小企業支援策」 経済産業省東北経済産業局地域経済部産業人材政策課長 兎澤 健氏
	●「閉会挨拶」 山形大学大学院理工学研究科 教授 ものづくり技術経営学専攻長 松田 修氏
【懇親会】	17:00~18:30

グローバル化とボーダレス化が目まぐるしい勢いで世界中を圧巻するなか、日本国内では少子高齢化による人口動態の変化、国家財政の恒常的な赤字を背景にしつつ、団塊世代・熟練工の大量退職、国際競争力の相対的低下、産業の空洞化など諸課題が山積しています。

このようななかで日本企業の事業展開や生き残りのためにカギとなるのが、優秀な国際人材の確保と人材育成のための仕組みの構築です。

このシンポジウムでは、上記のような視点からこれからの時代を切り拓くための「国際人材の育成」に焦点をあてて、議論を深めます。

山形大学大学院理工学研究科ものづくり技術経営学(MOT)専攻
とうほくものづくり国際人材育成プログラム
[アジア人材資金構想 経済産業省・文部科学省連携事業]

みらい
とうほくMITRAIとは…
Monozukuri Industry Talents Relating to
Asian Innovationの頭文字をとった略です。

山形大学大学院理工学研究科ものづくり技術経営学(MOT)専攻は、平成20年から経済産業省・文部科学省の共同委託事業である「アジア人材資金構想」に取り組んでいます。このプロジェクトは、アジア各国から秀でた留学生をリクルートし、山形大学において高度な専門教育と技術経営学にかかわる特殊教育を実施するとともに、日本に関連する教育(日本語、日本ビジネス、日本事情、日本文化などの日本教育)を行うものです。大学院を修了した留学生は卒業後に東北地域の企業に就職し、企業の海外における市場開拓、海外への技術移転や事業展開、マネジメントなどの局面において中核的な役割を担います。山形大学ではこれまでに数多くの優秀な留学生を世界各国から受け入れており、これからの山形県や東北地域の企業活動を担える国際人材の育成を推進しています。

会場 東京第一ホテル米沢 桜園の間(2階)
〒992-0045 山形県米沢市中央1-13-3
山形新幹線JRI「米沢駅」下車、「米沢駅」よりタクシーで約10分(駐車場あり)

日時 平成23年3月7日(月)
【総会】14:30~17:00
【懇親会】17:00~18:30

参加費 第一部、第二部：無料 懇親会：1,000円

申込方法 このチラシ裏に必要事項を記入のうえ、FAXにてお申し込みください。または裏面の記載事項を明記のうえ、メールにてお申し込みください。

その他 シンポジウムのテーマや山形大学の国際人材育成、ならびにコンソーシアムに興味・関心のある方は自由に参加できます(企業および個人)。



申し込み先 “もっとみらい”コンソーシアム第2回定期総会運営事務局

Fax:023-624-5902 メールアドレス:ab-okitama@y-ab.co.jp

問い合わせ先

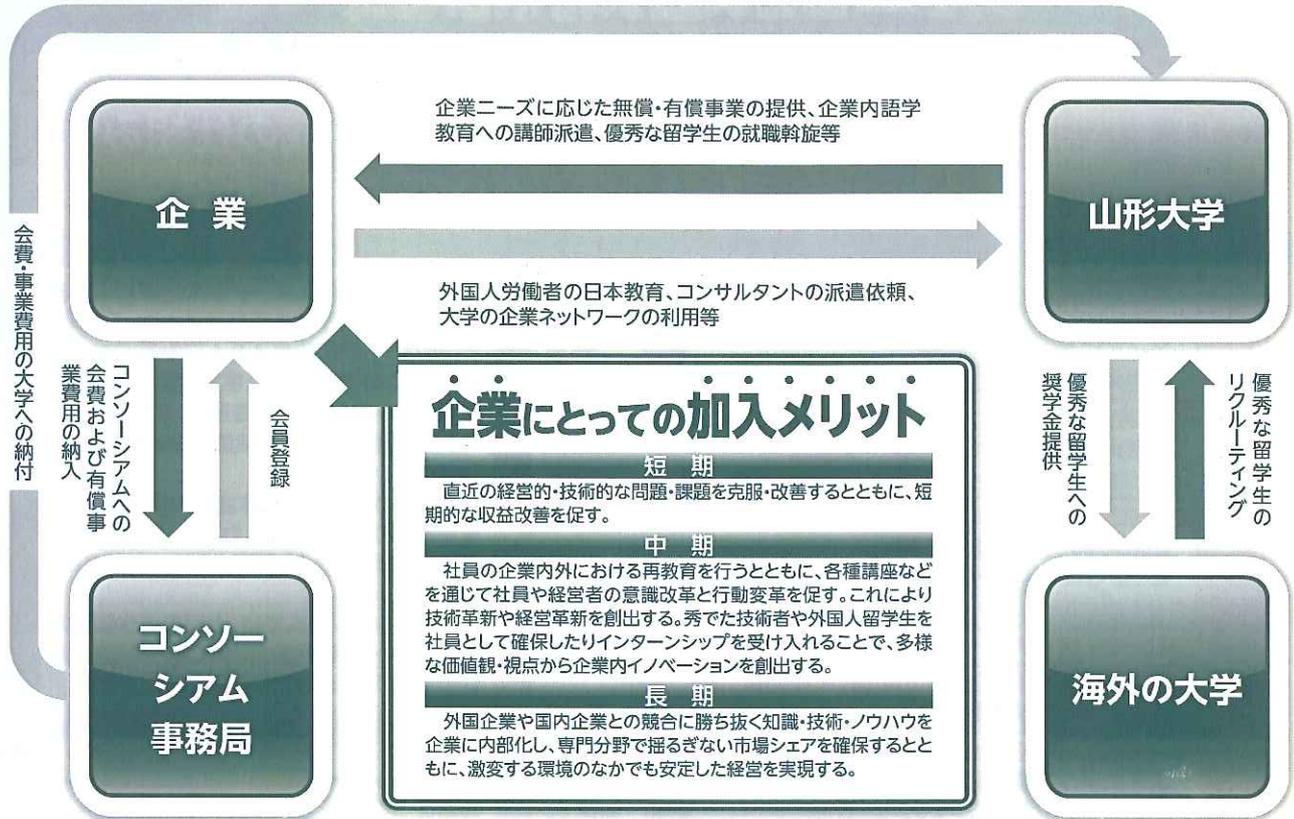
山形大学大学院理工学研究科ものづくり技術経営学専攻とうほくMITRAI(みらい)コース

〒992-8510 山形県米沢市城南4-3-16 Tel:0238-26-3622

※総会当日(3月7日)は、Tel:0238-26-5570までご連絡ください。

山形大学大学院理工学研究科ものづくり技術経営学専攻 とうほくMITRAIコースは、 コンソーシアム参加企業を募集しています。

山形大学大学院理工学研究科MOT専攻は、これまでの長年にわたる教育実績と経験・ノウハウを基盤として、大学と企業との協力関係をさらに強化することを通じて、人材育成や先進的な講義・セミナーを多方面で開催し、地域産業の発展と飛躍に貢献します。企業の皆様にはコンソーシアム会員として参加していただくことによって、様々な特典・機会が得られ、企業における開発・生産・販売・管理等の諸活動を多面的に支援します。



【コンソーシアム会員向け事業の紹介】

コンソーシアムにご加入いただくと下記のサービス・特典が受けられます

【無償のサービス・教育等】

- 双方向教育……山形大学MOT所属教員がコンソーシアム参加企業を訪問し、外国人雇用のメリットと雇用方法に関する講演を実施します。
- 研究会への参加……ものづくり・ひとづくりに関して定期的開催される研究会に参加することができます。
- マッチングの利用……大学の企画・実施する就職説明会に優先的に参加することができます。
- 無償講座の実施……山形大学MOT所属教員が会社や工場を訪問し、ものづくり・ひとづくりに関する講演・講義を実施します(1会員につき最大1回)。

【有償のサービス・教育等】

- 有料講座への参加……企業ニーズを踏まえた形でのMOT所属教員による有料講座を受講することができます。
- ショートコースへの参加……技術経営やものづくり・ひとづくりに関連する連続公開講座を優先的に受講することができます。
- 外国語講座への参加……私費留学生による外国語講座(例:中国語、ベトナム語、フランス語等)を、申請に基づき企業内で開催することができます。
- コンサルティングの優先的権利……MOT所属教員による技術・経営コンサルティングを申し込み、優先的に受けることができます。

“もっとみらい”コンソーシアム 第2回定期総会 参加申込書

申込締切日 / 平成23年3月3日(木)

Fax:023-624-5902 メールアドレス:ab-okitama@y-ab.co.jp

※メールの場合はタイトルに「シンポジウム申込」と記載のうえ下記の内容を明記してお送りください。

ご氏名	(ふりがな)	ご所属 (会社名)		
ご連絡先	〒	電話番号		
		懇親会 (どちらかに○)	参加する	参加しない

米沢バイオ公開セミナー・シンポジウム

米沢でのバイオ分野の研究は始まったばかりです。バイオ分野の研究の発展と新たな拠点となることを目指し、バイオの基本を知り、その先端研究に触れるための公開セミナー・シンポジウムを開催します。

期日 平成23年**3月9日(水)**・**10日(木)**

場所 **山形大学工学部百周年記念会館** ※参加人数により会場が変更になる場合がございます。
山形県米沢市城南4丁目3-16 山形大学工学部内



第一部 3月9日(水) 13:30~17:15

対象/高校生以上

教育セミナー: 私たちの体の働きについて

神経系の仕組みと働きについて

埼玉大学大学院 理工学研究科 生体制御学 准教授 塚原伸治先生

体のバランスを整える内分泌系の役割とは

埼玉大学大学院 理工学研究科 生体制御学 教授 坂井貴文先生

体を守る免疫系の仕組みについて

東邦大学医学部 免疫学教室 講師 石川文雄先生

第二部 3月10日(木) 13:00~16:40

対象/大学生・短大生以上

最先端バイオ研究シンポジウム

脳の性分化機構:

雌雄で異なる脳の構造と機能について

埼玉大学大学院 理工学研究科 生体制御学 准教授 塚原伸治先生

消化管ホルモンによる胃運動調節について

—グレリンとモチリンの胃収縮刺激作用—

埼玉大学大学院 理工学研究科 生体制御学 教授 坂井貴文先生

アルコールのTh2/Th17細胞分化に

及ぼす影響について

東邦大学医学部 免疫学教室 講師 石川文雄先生

神経
内分泌
免疫



主催/山形大学工学部バイオ化学工学科

本セミナー・シンポジウムは、文部科学省科学技術振興調整費「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」事業の支援を受け、開催しております。

本セミナーに関するお問い合わせはこちらまで

TEL 0238-26-3180 FAX 0238-26-3177
E-mail kurotanir@yz.yamagata-u.ac.jp

[担当] 山形大学工学部 バイオ化学工学科 黒谷 玲子・荒井 康子

米沢バイオ公開セミナー・シンポジウム プログラム

日時:平成 23 年 3 月 9 日(水)・10 日(木)

場所:山形大学工学部百周年記念会館

第一部(1日目) 教育セミナー:私たちの体の働きについて

3 月 9 日(水) 13:30-17:15

13:30 - 13:35 開会の辞

(山形大学大学院理工学研究科バイオ化学工学 佐藤慎吾 先生)

13:35 - 14:40 神経系の仕組みと働きについて

埼玉大学大学院理工学研究科 生体制御学 准教授 塚原伸治 先生

14:40 - 14:50 休憩

14:50 - 15:55 体のバランスを整える内分泌系の役割とは

埼玉大学大学院理工学研究科 生体制御学 教授 坂井貴文 先生

15:55 - 16:05 休憩

16:05 - 17:10 体を守る免疫系の仕組みについて

東邦大学医学部 免疫学教室 講師 石川文雄 先生

17:30-19:30 懇親会 百周年記念会館 2 階 (会費 3000 円)

第二部(2日目) 最先端バイオ研究シンポジウム

3 月 10 日(木) 13:00-16:40

13:00 - 13:05 開会の辞

(山形大学大学院理工学研究科バイオ化学工学 阿部宏之 先生)

13:05 - 14:10 脳の性分化機構:雌雄で異なる脳の構造と機能について

埼玉大学大学院理工学研究科 生体制御学 准教授 塚原伸治 先生

14:10 - 14:20 休憩

14:20 - 15:25 消化管ホルモンによる胃運動調節について

—グレリンとモチリンの胃収縮刺激作用—

埼玉大学大学院理工学研究科 生体制御学 教授 坂井貴文 先生

15:25 - 15:35 休憩

15:35 - 16:40 アルコールの Th2/Th17 細胞分化に及ぼす影響について

東邦大学医学部 免疫学教室 講師 石川文雄 先生

米沢バイオ公開セミナー・シンポジウム・懇親会 参加申し込み

FAX(荒井:0238-26-3177)もしくはメール(黒谷:

kurotanir@yz.yamagata-u.ac.jp まで添付ください)でお申し込みください。

ご登録いただいた情報は、参加者の確認にのみ利用させていただきます。

申し込み締め切り 平成 23 年 2 月 28 日(月)まで

セミナー・シンポジウム日時:平成 23 年 3 月 9 日(水)・10 日(木) 参加費無料

場所:山形大学工学部百周年記念会館

懇親会日時:平成 23 年 3 月 9 日(水)17:30-19:30

場所:百周年記念会館 2 階 (懇親会費 3000 円)

第1部(1日目)教育セミナー (3月9日) 参加費無料	第2部(2日目)最先端バイオ研 究シンポジウム(3月10日) 参加費無料	懇親会(3月9日) 参加費 3000 円
参加 不参加	参加 不参加	参加 不参加
いずれかを○で囲んでください。		
以下連絡先等ご記入ください。		
お名前		
ご所属		
ご住所	〒	
TEL・FAX		
e-mail アドレス		



やまがた夜話

～山形県の人・モノ・地域づくり編～

第11回

■日時
2月2日(水) ●18:30～19:30
【開場: 18:10】

■講演テーマ

「ブナの森から考える地域づくり」

■講師

大川 健嗣 氏

(東北文教大学 教授 山形大学名誉 教授)



第12回

■日時
2月9日(水) ●18:30～19:30
【開場: 18:10】

■講演テーマ

「まちづくりー理解と共感ー」

■講師

鈴木 洋 氏
(金山町長)



第13回

■日時
2月16日(水) ●18:30～19:30
【開場: 18:10】

■講演テーマ

「逞しいモノ創りひと創りゆめ創り」

■講師

安房 毅 氏

(株式会社タカハタ電子 代表取締役)



第14回

■日時
2月23日(水) ●18:30～19:30
【開場: 18:10】

■講演テーマ

「市場創発型
産学連携プロジェクトの展開」

■講師

平林 千春 氏
(東北芸術工科大学 教授)



対象

高校生・学生・一般市民

入場無料 各定員: 50名

会場

ゆうキャンパス・ステーション
(山形むらきさわビル1階)

主催

大学コンソーシアムやまがた

お申込

電話又は、チラシ裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX、郵送、メール等で下記宛お申し込みください。

アクセス

山形駅東口より徒歩1分。



お申込み・お問合せ



大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

やまがた疫話

～山形県の人・モノ・地域づくり編～

参加申込書

必要事項を明記の上、下記宛 FAX・郵送または E-mail にてお申し込み下さい。
みなさんので参加をお待ちしております。

申込締切日： 第11回目 1月31日(月)
第12回目 2月7日(月)
第13回目 2月14日(月)
第14回目 2月21日(月)

参加日	参加日を○で囲んでください。 1, 平成23年 2月 2日(水) 講師：大川健嗣 氏 2, 平成23年 2月 9日(水) 講師：鈴木 洋 氏 3, 平成23年 2月16日(水) 講師：安房 毅 氏 4, 平成23年 2月23日(水) 講師：平林千春 氏
住所	〒
氏名	
連絡先	TEL
	E-mail
所属	学生の方は学校名を記入

受講申込者が多数の場合は、お手数ですが参加申込書をコピーしてご利用ください。
この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に
使用するとともに、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

お申込み・お問合せ先

 大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階
TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学大学院ものづくり技術経営学専攻 社会人特別選抜入試案内

価値と利益を創造する技術経営学

事業展開や
組織のマネジメントで
悩んでいませんか

収益があがらず
先行不安を
抱えていませんか

どうしたら良いのか
分らず
困っていませんか

ものづくりコース

- 自社の持つ製品に更なる付加価値を付けて価値創造を行い、戦略・戦術をもって組織の利益増大のために人・モノ・金・技術などを高度にマネジメントできる人材を育成する。



【技術経営学専攻共通科目】

実践に主眼をおいた
技術経営学 (MOT) の
基礎科目および応用科目



食品創製コース (食農の匠)

- 研究開発から消費に至る価値創造プロセスを深く理解し、広く実践が展開できる食農分野のエキスパートを育成する。生産技術に加えてマーケティングやマネジメントを柔軟に実践できる「食農の匠」を輩出する。



グローバル戦略コース (世界俯瞰の匠)

- 日本が世界に誇るものづくりを基盤として世界市場を俯瞰し、高付加価値型事業を世界規模で展開する能力を育成する。グローバルな視点からのマネジメント能力、技術と経営の戦略構築能力に優れた「世界俯瞰の匠」を輩出する。



とうほくMITRAIコース (留学生対象)

- 優秀な留学生を受け入れ、MOTに関する専門的教育を受けるとともに、日本企業の文化・風習などを理解し、高いコミュニケーション能力と日本語能力を習得する。修了後は日本企業に就職し、日本と海外を繋ぐ中核的人材として育成する。



MOT専攻にはその答えを導出する方法と学問があります



<技術経営学(MOT)とは>

技術に関する知識・技能に加え、マーケティングや管理会計などの企業経営に関するマネジメントの知識・技法を大学院の専門教育課程で学び、文理融合の能力を有して大学院を修了したものを、技術経営学 (MOT) 修士と呼びます。

※高校卒の方であっても「入学資格審査」に合格すれば出願が可能です。まずは募集要項をお取り寄せください。



問合せ先

山形大学大学院理工学研究科ものづくり技術経営学専攻事務局

〒992-8510 山形県米沢市城南4-3-16 TEL:0238-26-3623 FAX:0238-26-3772

メールアドレス: motjim@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

ホームページ: <http://www.yz.yamagata-u.ac.jp/mot/index.html>

MOTのメリット

【多様な修了要件】

特許取得・助成金獲得・新製品開発・ビジネスモデルの構築など、修士論文以外でも修了することができます。そのため大学の学習を仕事に直結することができます。

【実務型教員による教育体制】

MOT専攻所属教員は、企業・行政・国際機関等に所属していた実務型教員です。そのため学問的研究だけでなく、職場における問題解決など、実践的な研究課題をテーマとして設定し、取り組むことができます。

【社会人に適した学習形態】

社会人向けに、大学の講義を金曜日・土曜日（9:45-17:30）に開講しています。講義を受講することができなかった学生に対してDVD教材を貸し出しています。

【教育訓練給付金制度と就職支援】

教育訓練給付制度を用いて学習することができます（入学金・授業料から最大で10万円が国から支給）。また高い実績を持つキャリアサービスセンターが就職活動を全面的にサポートします。

MOTの特徴

【文理融合型の横断カリキュラム】

文理融合型のカリキュラムを構築しています。そのために企業等における即戦力人材を育成するとともに、社会人にはレベルの高いキャリアアップの場を提供します。

【幅広い年齢と職種の学生層】

MOTには現在、46名の学生が所属しています。年齢は22歳から71歳までとなっており、職種も企業・行政・銀行など多様です。

【手厚い指導体制とサポート】

修士論文等の個別指導では、教員が専門性を活かして手厚く個別指導・アドバイスをを行います。またインターンシップ希望者には事前・事中の助言・指導をおこない、卒業後を見据えた就職活動を支援します。

【博士後期課程への進学】

グローバルに企業展開するうえで有利な博士の学位（工学）を博士後期課程を修了することで取得できます。優秀な修士課程の学生には博士課程への「飛び級」を認め、博士の学位を最短3年で取得することが可能です。

入学希望から入学までの流れ

①募集要項の取り寄せ（送料240円）

②出願書類の作成

③大学院入学資格審査書類提出

④出願書類の提出

⑤面接試験

⑥合否発表

⑦入学手続き

山形大学工学部入試担当 電話：0238-(26)-3013
準備書類等がありますので早めにお取り寄せください

※大卒資格を有さない方のみ（平成23年2月8日～10日）

平成23年3月2日～4日

平成23年3月11日

平成23年3月17日

平成23年3月25日～28日

<ものづくり技術経営学（MOT）専攻入学説明会の開催>

- 山形会場：山形市、上山市、山形大学共催「プロセス革新のための産学連携セミナー」
日時：平成23年2月17日（木）14:30-17:00、場所：山形国際ホテル（山形市）
講師：山形大学大学院理工学研究科教授 小野 浩幸
- 置賜会場：中小企業応援センター山形大学「学金連携システムネットワーク」主催「ITを活用した経営力強化セミナー」
日時：平成23年1月21日（金）18:00-20:00、場所：グランドホクヨウ米沢
講師：山形大学大学院理工学研究科准教授 綾部 誠
- 最上会場：最上総合支庁、山形大学主催「最上夜学」
日時：平成23年1月31日（月）18:00-20:30、場所：最上広域交流センター「ゆめりあ」
講師：山形大学国際事業化研究センター長、教授 高橋 幸司
- 福島会場：山形大学主催「山形大学大学院理工学研究科ものづくり技術経営学専攻とは」
日時：平成23年1月13日（木）15:00-16:30、場所：コラッセふくしま 402A会議室
講師：山形大学大学院理工学研究科教授・准教授 野長瀬 裕二、野田 博行

※上記時間帯のなかで説明会を実施します。会場の地図についてはMOT専攻ホームページにてご確認ください。

【山形大学大学院理工学研究科ものづくり技術経営学専攻入学説明会申込書】

※各会場で行われる入学説明会の3日前（土日祝を除く）までにお申し込みください。

FAX番号:0238-26-3772 / 電話番号:0238-26-3623 (次の年末年始期間を除く平日10:30-17:00)

※12月28日から1月3日は大学の冬期閉鎖期間であるため、できるだけFAX・郵送・メールにてお申し込みください。

※メールの場合はタイトルに「入学説明会申込」と記載のうえ下記の内容を明記してお送りください（アドレスは表面参照）

氏名（ふりがな）			
連絡先	〒		
電話番号	参加希望会場名 (会場名を記載してください)	会場	

共振する東アジア2

東アジアの言語の将来



2011.2.19 土
午後1:00~午後5:30

[会場] 山形大学小白川キャンパス
人文学部1号館4F 第1会議室

[対象] 高校生・大学生・一般市民

[参加費] 無料

『日台大辞典』と東アジア共通漢字

山形大学人文学部 准教授 中澤 信幸

台湾で使用されている日本語初級教科書の種類とその特徴

銘傳大学応用日語学系 副教授 林 玉 恵

台湾における言語接触と文法化

—台湾閩南語と台湾中国語を例に—

成功大学台湾文学系 助理教授 陳 麗 君

琉球人が学んだ中国語 —『琉球官話集』を例に—

琉球大学法文学部 講師 金城ひろみ

古きをもって今を鑑る

—東アジア言語相互の「官語」と「寄語」について語る—

中山大學中国文学系 教授 林 慶 勳

詳しくはチラシ裏面をご覧ください

山形から東アジアへ飛び出そう！ 言葉は私たちをつなぐ架け橋

近年の東アジアの経済発展を承けて、日本と東アジアとの関係はますます密接になっています。近い将来、東アジアが一つの経済圏となるかも知れません。その時に使う言葉は英語ですか？いえいえ、英語は現在では確かに「世界語」となりましたが、東アジアには東アジア固有の言葉があります。これをうまく使いこなすことで、より効率的で密接なコミュニケーションが可能になるかも知れません。本シンポジウムでは日本と台湾の第一線で活躍する研究者を集め、言葉に関するさまざまな可能性について討論していきます。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

『日台大辞典』と東アジア共通漢字

山形大学人文学部 准教授 **中澤信幸**

明治40年(1907)刊行の『日台大辞典』付載「日台字音便覧」をもとに、日本漢字音と台湾語音との関連性を考え、さらに東アジア共通漢字の可能性についても考えていきます。

台湾で使用されている日本語初級教科書の種類とその特徴

銘傳大学応用日語学系 副教授 **林玉恵**

日本語学習者が多い台湾では、日本語初級教科書は非常に重要な役割を果たしています。ここでは台湾で使用されている日本語初級教科書の種類と、その特徴について考察します。

台湾における言語接触と文法化 —台湾閩南語と台湾中国語を例に—

成功大学台湾文学系 助理教授 **陳麗君**

台湾では台湾語と中国語がお互いに影響し合うことによって、新しい「言葉」が話し手を持つクレオール現象が起こりました。ここでは語用・認知意味論の立場から、新たに生まれた「言葉」の解析に挑みます。

琉球人が学んだ中国語 —『琉球官話集』を例に—

琉球大学法文学部 講師 **金城ひろみ**

明清時代、琉球人が「官話」(中国語)学習に用いたテキスト「琉球官話課本」において、語彙集である『琉球官話集』を中心に、当時の中国語テキストの内容や特徴、問題点等について紹介します。

古きをもって今を鑑る —東アジア言語相互の「官語」と「寄語」について語る—

中山大学中国文学系 教授 **林慶勳**

17世紀以来東アジアの朝鮮・日本・琉球では、「官話」の学習をもって、中国との貿易・冊封・朝貢・倭寇対策および漂流民等の問題に対処してきました。この背景をもとに、17~19世紀の言語資料と各問題との関係について語ります。

スケジュール

2月19日(土) 13:00 開会挨拶

第一部報告

13:05~13:35 中澤信幸

13:35~14:05 林玉恵

14:05~14:10 休憩

14:10~14:40 陳麗君

14:40~14:55 第一部 質疑応答

14:55~15:00 休憩

第二部報告

15:00~15:30 金城ひろみ

15:30~16:00 林慶勳

16:00~16:15 第二部 質疑応答

16:15~16:25 休憩

16:25~17:25 パネルディスカッション

17:25~17:30 閉会挨拶



拡がりゆく数学 山形

～数学はどんな形で社会で役立つか～

2011年02月20日(日)

時間：13:15 - 17:40

対象：高校生および一般

場所：山形大学 理学部

参加費：無料

定員：100名程度

※希望者多数の場合は、会場の都合により受講いただけないことがありますので、予めご了承ください。



アクセス情報

山形駅より「県庁前待合所」行きバスで「南高校前・山大入口」下車、徒歩7分

講演者・講演題目

「数学は新たな世界観をもたらさうか」

北海道大学教授・JST数学領域研究総括 西浦 廉政

「数学と医学のホットな関係」

岡山大学教授・JST数学領域さきがけ研究者 水藤 寛

「偶然と必然のあいだに」

北海道大学特任助教・JST数学領域さきがけ研究者 荒井 迅

「数学の限界について、数学的に考える」

京都大学助教・JST数学領域さきがけ研究者 蓮尾 一郎

「現象を理解するための数理モデル ～数学で皮膚モデルをつくらう～」

金沢大学教授・JST数学領域さきがけ研究者 長山 雅晴

参加申込み および お問い合わせ

参加申込み先

HP：http://www.math.jst.go.jp/ja/caravan/2011_entry.html

お問い合わせ先

山形大学理学部：原田 昌晃

E-mail：sympomath@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

TEL：023-628-4533 FAX：023-628-4510

主催：独立行政法人 科学技術振興機構(JST)「数学と諸分野の協働によるブレークスルーの探索」研究領域

共催：山形大学 理学部

有機エレクトロニクス シンポジウム in 米沢 2011

有機エレクトロニクスの未来を切り開く



山形大学・山形県の「地域卓越研究者戦略的結集プログラム(独立行政法人科学技術振興機構)」を中心とする産学官連携による有機エレクトロニクス関連研究開発のこれまでの成果と、産業化へ向けた今後の展開について情報発信を行うことにより、異業種間や他地域との交流・融合に発展する取り組みを促進し、産業クラスターの形成を目指します。

日時 平成23年 **2月25日(金)** 午前10:00~12:00

同日午後には高分子学会主催 有機EL研究会 第8回異業種交流会を開催
※詳細はHPをご覧ください→<http://www.spsj.or.jp/entry/annaidetail.asp?kaisaino=604>

会場 伝国の杜 置賜文化ホール 参加費 **無料**
山形県米沢市丸の内1-2-1 TEL 0238-26-2666

- プログラム**
- 10:00~10:05 開会の挨拶**
小山 清人 氏 (山形大学 理事・副学長)
 - 10:05~10:35 基調講演**
「有機薄膜太陽電池の開発と今後の展開」
山岡 弘明 氏 (三菱化学株式会社 OPV事業推進室 統括部長)
 - 10:35~11:35 パネルディスカッション**
山岡 弘明 氏 (三菱化学株式会社 OPV事業推進室 統括部長)
森田 好彦 氏 (Lumiotec株式会社 取締役マーケティング部長)
城戸 淳二 氏 (山形大学 卓越研究教授)
時任 静士 氏 (山形大学 卓越研究教授)
司会 / 柴田 孝 氏 (山形大学 国際事業化研究センター 副センター長)
 - 11:35~12:00 質疑応答**



主催 / 国立大学法人山形大学 後援 / 独立行政法人科学技術振興機構・財団法人山形県産業技術振興機構・米沢市

↓こちらからお申込みください
<http://www.yz.yamagata-u.ac.jp/info/form/yukielsympo2011form-1.php>

上記URLからのお申込みが出来ない方は、FAXにてご送信ください。

有機エレクトロニクス シンポジウム in 米沢 2011				
有機エレクトロニクスの未来を切り開く				
参加申込書	会社名	部署 役職		TEL
	氏名	フリガナ	所在地	FAX
	氏名	フリガナ	〒	E-mail

↓携帯からの申込みはこちら



一個人情報の取り扱いについて— ご登録いただいた情報は、参加者の確認にのみ利用させていただきます。

お問い合わせ先: 山形大学工学部 研究支援室

TEL / 0238-26-3004 FAX / 0238-26-3401 E-mail / edison@yz.yamagata-u.ac.jp

※この印刷物は、印刷用の紙ヘリサイクルできます。